

## 第18回 法人会全国女性フォーラム広島大会の報告

HIROSHIMA 今、みつめなおそう！～多島美の瀬戸・豊かな里山から～をキャッチフレーズに令和6年4月18日(木)第18回法人会全国女性フォーラム広島大会が開催され、全国から女性部会員を中心に約1700名が参加されました。徳島県からは5ブロックからの参加があり、そのうち徳島法人会女性部会では4名が参加いたしました。街が黄砂がかすむ中、広島県立総合体育館に、続々と女性会員が集結されました。小アリーナ会場では、絵はがきコンクール作品と物産展が開催され大盛況でした。広島県女性部会・法人会の方々のきめ細やかな歓迎に感銘を受けました。

第1部の記念講演は指揮者の下野竜也さんの「音楽・師との出会い～今、我々に求められること～」でした。大会キャッチフレーズに込められた「今、何ができるのか」を指揮者としてご自身の生き方を通して具体的にお話されました。テレビドラマの『さよならマエストロ』の指揮者のモデルでないのかと途中から重なってきて、誠実なお人柄に引き込まれていきました。最後に、教育の現状はパワハラ等で、子供達に伝える事をしなくなっているように思うが、愛情があれば気持ちは必ず伝わる。手を差し伸べ、チャンスをあげることが大切だとまとめられ広島ウインドオーケストラの演奏を聞かせてくださいました。

第2部の大会式典では、主催者挨拶、来賓祝辞に続いて広島法人会女性部の16ブロックの活動がスクリーンで報告されました。

大会宣言では、女性部会は税のオピニオンリーダーである法人会の一員として、租税教育など税の啓発活動と、社会貢献活動の一環として取り組んでいる「税に関する絵はがきコンクール」を更に充実させていく。そして、目まぐるしく刻々と変化する「今」をもう一度この世界最初の被爆地で見つめ直して、相互に思いやることのできる優しい未来、女性がさらに活躍できる社会の実現に向けて、邁進しましょうと宣言がありました。

徳島法人会の今後の取り組みにも大変参考になりました。

第3部の懇親会では、広島の特産品を使用したお弁当が準備され心温まるおもてなしを受けました。ウェルカム演奏は、被爆ピアノの伴奏と手話を交えての歌で会場が一つになりました。また、アトラクションでは、ヤマタノオロチの迫力ある神楽が上演され、八匹の大蛇が舞台狭しととぐろをまき、その首を須佐之男命が退治するという演目でした。徳島の座席が舞台の近くにあったので、細かい大蛇の動きまで見え素晴らしい伝統芸能だと感動いたしました。

徳島法人会の岡本篤典さんの絵はがきが全法連女連協会会長賞に選ばれていて、青年部の租税教育の賜物だと思いました。

以上、とても有意義な広島大会でありましたことを報告させていただきます。

今後も他の法人会の良いところを吸収し、よりよい活動を目指していきたいと思っております。